

2020年度競技関係申し合わせ事項

2020年4月
県小連競技委員会

追加または変更内容は赤字で記述。また、記述順序を変更し見やすくしている。

※この競技関係申し合わせ事項は、岡山県小学生バレーボール連盟が主管または主催する大会のみ適用する。

全国大会や中国大会など他の大会へ参加する場合は、その主催者の大会要項等に従うこと。

☆県小連ホームページについて

- ・チーム責任者または指導者は、県小連ホームページを定期的な閲覧やチーム宛メール等も確認し情報収集に努めること。

☆県大会試合方法について

- ・全試合トーナメント戦を原則とするが、参加チーム数などによって、常任理事会の承認を得て試合方法を変更することもある。

☆ベンチ入り選手について

- ・ベンチ入り選手は、最大14名とする。
ただし、全日本バレーボール小学生大会岡山県大会は、最大12名とする。

☆ベンチの椅子および得点板の位置について

- ・全国大会岡山県大会は9脚、その他の大会は11脚とする。
- ・全国大会岡山県大会、ECCジュニアカップ、OHK杯新人大会の予選は3脚でもよい。
- ・得点板は、従来通り①または④の位置に置く。（主審側）

☆混合部門の参加申し込みおよび試合中のルールについて

- ・選手は、混合（男子及び女子が1名以上）で参加申し込みをおこなうこと。
- ・試合中は、コート内が常に混合（男子および女子が1名以上）であること。
- ・選手交代により混合でなくなった場合は、不法な選手交代として取り扱う。
※公益財団法人日本バレーボール協会バレーボール6人制競技規則を参照のこと。
- ・セット終了後に判明した場合は、そのセットは成立する。
- ・試合終了後に判明した場合も、その試合は成立する。

☆選手のベンチスタッフ登録について

- ・選手は、マネージャーとして登録できる。
- ・MRSは該当選手を「選手兼マネージャー」で登録または変更すること。

☆大会当日の選手およびベンチスタッフの変更/追加について

- ・変更/追加は認めない。ただし、選手の背番号の変更はエントリー変更を提出することで認める。
- ・監督の試合当日の変更は、試合前にチームキャプテンが主審に許可を得ることによりコーチが代行することができる。（ルール準拠）

☆選手の健康管理について

- ・大会期日までに必ず受けておくこと。（診断書の添付不要）

☆メンバー表、スターティングラインアップシートについて

- ・チームがメンバー表、スターティングラインアップシートを用意すること。
（用紙は県小連ホームページよりダウンロード）
- ・混合部門に参加するチームは、メンバー表の記入時、男子選手にマーカーを行うこと。
なお、マーカーの色は問わない。
- ・メンバー表は、受付で提出する。予選日、決勝日でそれぞれ提出すること。

☆点示用チームプレートについて

- ・チームで用意すること。
- ・チームプレートは、A4サイズで白地に黒文字とし、遠くからでもよく見えるよう大きい文字サイズを使用すること。
- ・チームプレートは、破損等防止のためラミネート加工が望ましいが、ラミネート加工が困難な場合は、透明なクリアファイルに密封してもよい。
- ・チームプレートは、試合前に記録員に提出し、終了後回収すること。

☆大会会場での練習について

- ・カベ打ちを禁止する。
また、カベや観客席に向かってボールを打つての攻撃練習も禁止する。
- ・全チームでの練習が許可されている場合は、コートを占有しての練習を禁止する。
- ・別の練習場所が用意されている場合は、会場責任者からの注意事項に従って使用すること。
なお、選手のみでの使用は禁止する。（必ず指導者がつくこと）

☆県大会における公式練習について

- ・単独3分または合同6分とする。試合前、キャプテンのトスを行う時に決定する。

☆公式練習及び試合間練習のボールガードについて

- ・ボールガードは、大人／子供を問わず最大5名まで認める。
- ・ボールガードは、コート間以外には立たないこと。
- ・ボールガードは、球拾いやボール渡しなどの練習の手伝いをしないこと。
- ・ボールガードの服装は、トレーニングウェア（短パンやハーフパンツは可）とし、体育館シューズを履くこと。

☆選手の服装について

- ・ユニフォームは、チームで統一されていること。
ただし、ソックスの新旧の違いによるワンポイントや多少の長さの違いは認める。
- ・ブロック別五年生大会、OHK杯新人戦の場合は、ユニフォームの下にアンダーシャツを着てもよいが、チームで統一されていること。
- ・混合チームのユニフォームは、男女で色の違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。しかし、違うユニフォームを用意できない場合は、男子が腕章を付けるようにする。（県小連で用意する。）
- ・ワイピング用タオルは、動きの邪魔にならないように身につける。

☆ベンチスタッフの服装について

- ・ジャケットか襟付きのものを着用すること。襟なしやハーフパンツ等は不可。
チームで統一された服装が望ましいが、統一できない場合でも色は同系色にすること。
- ・アンダーシャツの着用有無は統一すること。色は同系色でもよい。
- ・選手がベンチスタッフの場合は、トレーニングウェアであれば襟なしやハーフパンツ等でもよい。また、アンダーシャツの着用も統一しなくてよい。
- ・ベンチコート等の防寒着は着用してもよいが、試合前後の挨拶の時は脱いで行うこと。
また、防寒着を脱いだ状態の服装は、上記の通りであること。
- ・審判服（上下）、手袋、ネックウォーマー、帽子は禁止する。
- ・チーム役員章は、左胸に常に見える状態で着用すること。
- ・怪我等で上記服装にできない場合は、会場責任者に申し出て許可を得ること。

☆ベンチへのうちわ等の持ち込みについて

- ・持ち込んでよいが、タイムアウト時のみの使用とし、ゲーム運営に支障をきたさないようにする。

☆ベンチスタッフのマナーについて

- ・タオルを首にかけたりゲーム中にうちわであおぐ等のないよう気をつけること。
- ・シャツは、ズボンの中に入れること。
- ・強い口調での選手へ指導、判定へのアピール行為を禁止する。

☆ドリンクケース、救急箱、ボールかごの置き方について

- ドリンクケース、救急箱等は原則ベンチ椅子の下又はベンチ後ろに置くこと。
置けない場合は、ウォームアップエリアまたはベンチの監督席と隣の席の間にスペースを作って置くこと。
- ボールかごは、ウォームアップエリア又はゲームエリア外に置くこと。
- **車輪付きのドリンクケースは、アリーナ内では持って移動すること。**

☆テクニカルタイムアウトについて

- 全日本大会岡山県大会、ECCジュニア選手権大会は、第1、第2セットは7点目および14点目に達したとき、第3セットは8点目に達したときにテクニカルタイムアウトを適用する。
- ブロック別五年生大会、OHK杯新人大会は、第1、第2セットは11点目、第3セットは8点目に達したときに適用する。
- テクニカルタイムアウトは、選手の給水が主目的のためベンチ横またはエンドラインの延長線上付近で給水を行うこと。
- ベンチスタッフは、指示等を行ってもよいが、給水の妨げをしてはならない。
また、指示を行う場合は、ベンチスタッフが選手の方に移動して行うこと。
- 円陣などで掛け声を行う場合も給水の場所で行うこと。
- モッパーは、モップ掛け後に必ず給水させること。

☆応援マナーについて

- 審判やラインジャッジの判定を批判しないこと。
- 隣のコートでの試合などの迷惑にならないような応援に心がけること。
- 鳴り物やメガホンを使っての応援は許可するが、試合の進行に支障がある場合は、制限をする場合があるので会場責任者の指示に従うこと。
- 鳴り物やメガホンで手すりを叩きながらの応援はしないこと。

☆その他

- **代表者会議での資料や伝達事項および監督会議での伝達事項は、必ず守ること。**
- **状況に応じて発せられる会場責任者からの伝達事項は、必ず守ること。**

☆大会使用ボールについて

大会名	2020年度		2021年度	
	男子/混合	女子	男子/混合	女子
全日本大会岡山県大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
ECCジュニアカップ 選手権大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
ブロック別五年生大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
OHK杯新人大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン